
本ニュースリリースは、日本ユニシス株式会社、ディサークル株式会社の共同ニュースリリースです。重複して配信される場合がありますことを、ご了承お願いいたします。

NEWS RELEASE

2016年8月1日

日本ユニシス、ディサークル 筑邦銀行が POWER EGG®の採用を決定 - 意思決定の迅速化とペーパーレスを促進 -

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：平岡 昭良、以下 日本ユニシス）とディサークル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西岡 毅、以下 ディサークル）は、株式会社筑邦銀行（本店：福岡県久留米市、頭取：佐藤 清一郎 氏、以下 筑邦銀行）から、日本ユニシスとディサークルが提供する「POWER EGG[®]」の採用決定を受けました。

筑邦銀行は、中期経営計画で「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」をスローガンとして掲げ、経営の効率化を推進して体質の強化を図り、行員一人当たりの生産性の向上を目指しています。

同行は、地域創生・活性化により踏み込んでいくため、働き方の変革のほか、営業活動時間の更なる捻出に向けたバックヤード業務の削減や、意思決定のスピード向上を目指し、「POWER EGG」の採用を決定しました。

【主な採用機能】

グループウェア、ワークフロー、Web データベース、文書管理

【POWER EGG 導入により目指す効果】

1. スピードアップ

意思決定の迅速化、指示内容・期限の徹底

2. 見える化

行内情報の見える化/共有による「気づき」や「協業」の促進、円滑な業務遂行

3. ペーパーレス化

報告・申請など、各種書類の閲覧や決裁の電子化による業務円滑化とペーパーレス化

筑邦銀行では、POWER EGG を利用している他金融機関の事例も参考に、短期間での導入をすすめ、2016 年度上期より各機能を順次稼働開始する予定です。

日本ユニシスとディサークルでは、今回の筑邦銀行での実績をもとに、POWER EGG の地域金融機関への展開を加速させていく予定です。

以上

注：「POWER EGG」（パワーエッグ）

POWER EGG は、統制強化と業務生産性の両立を図る上場企業や中堅企業を中心に、「気づき」から「行動」を促すプッシュ型ポータル機能やワークフロー機能などを提供しています。最近では、地域金融機関における導入実績も堅調に増加したこともあって、2016 年 6 月末時点で、地方銀行 7 行を含む 1,175 社、約 334,000 ライセンスの販売実績となり、国産ポータル型グループウェア、ワークフローシステムとして高い評価を受けています。

関連 URL

銀行・信用金庫向け業務効率支援ソリューション「POWER EGG」<http://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/poweregg/>

POWER EGG は、ディサークル株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のもので、その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。